

# NICU等退院支援検討部会について

## これまでの取組

- 平成 21 年度にNICU退院支援体制検討会を設置するとともに、平成 22 年度から都立墨東病院を中心とした区東部地域でNICU退院支援モデル事業を実施し、モデルケースの在宅移行支援を通じて、NICUからの円滑な退院に向けた取組への支援について検討
- モデル事業の成果を踏まえ、以下の取組を実施
  - ①周産期母子医療センターにおける在宅移行支援体制の強化・・・入院児支援コーディネーターの配置、在宅移行支援病床の設置
  - ②周産期母子医療センターにおける在宅移行後の支援体制の整備・・・在宅移行支援病床の設置、在宅療養児一時受入支援事業（レスパイト）の実施
  - ③地域における在宅支援体制の整備・・・・・・・・・・・・・・・・地域診療所医師、保健師等向けの在宅移行研修等を実施

## 設置目的及び主な検討項目

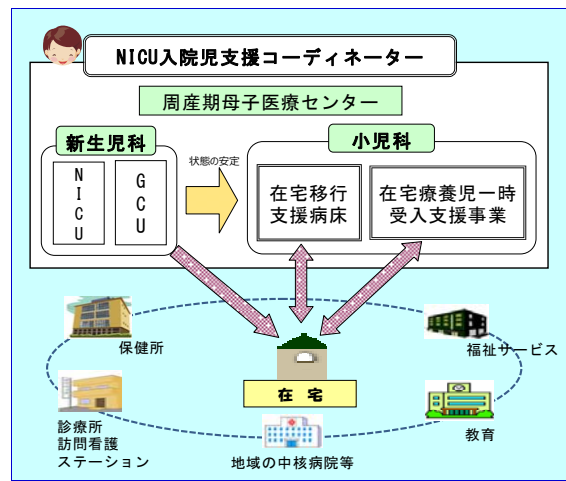
### 1 設置目的

退院後の医療的ケアの必要性や家族の抱える状況によりNICUから退院できずに長期の入院を余儀なくされる長期入院児の退院を支援するために、これまでの都が進めてきた退院支援の取組を検証し、今後の退院支援の方策を検討する。

### 2 主な検討項目

- (1) NICU入院児支援コーディネーターの配置促進  
 <NICU入院児支援コーディネーターの役割>  
 早期からの在宅移行支援、院内外の調整・連携
- (2) 在宅移行支援病床の設置促進  
 <事業内容>
  - ・NICU・GCUと在宅療養との間に、中間的病床として設置する病床
  - ・円滑に在宅療養等へ移行するために必要な知識・技術を取得するための訓練等の実施
  - ・在宅移行後に児が急性増悪したときの受入
- (3) 在宅療養児一時受入支援事業の促進  
 <事業内容>
  - ・在宅移行後の児に対する定期的医学管理及び保護者の労力の一時支援

<退院後の在宅療養を支える仕組み>



## 参 考

- (1) 東京都小児等在宅医療連携拠点事業  
 地域で在宅療養児を支える体制の構築に向け、医療・保健・福祉・教育の包括的な支援体制の強化・構築に向けた取組を都内3病院にて開始  
**【主な取組内容】**
  - ①行政、地域の医療・福祉関係者等による協議の場を開催し、連携上の課題等を抽出
  - ②地域の医療・福祉資源の把握
  - ③地域の福祉・行政関係者に対する研修会を開催することによりネットワークを構築
- (2) 地域医療再生基金を活用した区市町村支援  
 区市町村が、小児等の患者について、福祉と連携した在宅療養支援体制の構築を目的として実施する事業を支援

## 第1回検討内容

	NICU入院児等実態調査	在宅移行支援病床
報告内容	<b>【調査の内容】</b> ○NICU入院児の状況 ○在宅移行支援体制の把握 <b>【平成 24 年度結果】</b> (長期入院児) 79 人 ・90 日以上半年未満 44 人 ・半年以上 1 年未満 19 人 ・1 年以上 16 人	<b>【設置状況】</b> 5 施設 31 床 <b>【課題】</b> ○病院間で本病床の利用状況に差がある。 ○急性増悪時の受入が少ない。 ○本病床を利用して、在宅移行することが望ましい児の状況が不明確
主な意見	○病院間で在宅移行支援体制の差が大きい。 ○在宅移行した児の状態と比べて、導入された支援サービスが少ない印象があり、理由の分析が必要 ○長期入院となる原因の分析がさらに必要	○国の補助要件や対象児の設定が厳しい。 ○本病床を活用した在宅移行が進むには、施設基準を満たすだけでなく連携のスキルが必要 ○在宅移行が病院の方針として明確となり、看護師等の認識が変化
取組状況	<b>【実態調査項目の拡充】</b> ○ コーディネーター業務や、院内及び地域との在宅移行支援体制について ○ 在宅移行した児へのサービス導入をした理由、しなかった理由について ○ 長期入院の原因について	

調査結果等から、NICUからの在宅移行支援体制を把握すると共に、課題を抽出し、今後の取組を推進していく方策を検討する。

### 【今後のスケジュール】

平成 25 年度		平成 26 年度	
第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
○現状と課題の把握、促進策の検討		○中間まとめ	○まとめ